

瞠目の鉛筆画。

特別展

吉村芳生

— 超絶技巧を超えて —

開館時間 10:00~18:00(入館は17:30まで) 休館日 月曜日、5月6日(ただし5月3日は開館)

観覧料 一般 1,000円(800円)、65歳以上・大学生 500円(400円)、高校生以下 無料

※神戸市内在住の65歳以上の方は無料です。※()内は有料入館者30名以上の割引料金。※小学生以下は保護者(大学生以上)の同伴が必要です。※神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入場券(半券)をお持ちの方は割引が受けられます。

2021年4月10日(土)~6月13日(日) ※新型コロナウイルスの影響で変更場合があります。

主催:神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社 展示協力:大阪樟蔭女子大学 後援:サンテレビジョン、ラジオ関西 企画協力:株式会社アートワン



驚愕のリアリティを追求した鉛筆画。 緻密な描画を追求し続けた 吉村芳生の回顧展。

超絶した技巧を、はるかに超えている！

毎日描き続けた膨大な数の自画像、1文字1文字をすべて書き写した新聞紙、10メートルの色鉛筆画一。吉村芳生が生み出す、リアルすぎるほどリアルな作品は、どれも観るものに凄みを感じさせます。

1950年、山口県に生まれた吉村芳生が一躍注目を浴びたのは2007年のことでした。この年に開かれた「六本木クロッシング2007」展(森美術館)に出品された作品が大きな話題となり、吉村は57歳にして突如、現代アート・シーンの寵児となりました。

本展は吉村芳生の回顧展として、初期のモノトーンによる版画やドローイング、後期の色鮮やかな花の作品、生涯を通じて描き続けた自画像など、代表作約60件にて吉村の全貌を伝えます。2013年に惜しまれつつ早逝した吉村芳生の、ただ上手いだけの絵ではない、描くこと、生きることを意味を、観るものにも問い続けるような真摯な作品の数々を、ぜひお楽しみください。

- 1.《無数の輝く生命に捧ぐ》2011-13 色鉛筆/紙
- 2.《ケシ》(部分)2008 色鉛筆/紙
- 3.《コスモス》2000-07 色鉛筆・墨/紙
- 4.《モッコウバラ》2000 色鉛筆/紙、みぞえ画
- 5.《ジーンズ》1983 鉛筆/紙
- 6.《新聞と自画像 2008.10.8 毎日新聞》2008 鉛筆・色鉛筆・水性ペン・墨・水彩/紙

同時開催 **ドレスコレクション展** 当館の貴重な収蔵品の数々をご覧ください。

K 神戸ファッション美術館 KOBE FASHION MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1
TEL 078-858-0050 FAX 078-858-0058
<https://www.fashionmuseum.or.jp/>



アクセス: [電車ご利用の場合] ●新幹線「新大阪駅」でJR神戸線乗換、「住吉駅」まで快速約25分、六甲ライナー乗換●JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」で六甲ライナー乗換、「アイランドセンター駅」下車、南東徒歩3分 [バスご利用の場合] ●新幹線「新神戸駅」より、みなと観光バスにて「神戸ベイシェラトンホテル」まで約26分、南東徒歩5分●JR「三宮駅」より、みなと観光バスもしくは日交シティバスにて「神戸ベイシェラトンホテル」まで約18分、南東徒歩5分●阪急「御影駅」より、みなと観光バスにて「アジア・ワン・センター」まで約25分、南東徒歩5分●阪神「御影駅」より、みなと観光バスにて「アジア・ワン・センター」まで約15分、南東徒歩5分●JR「住吉駅」より、みなと観光バスにて「神戸ファッションプラザ前」まで約18分、南東徒歩5分 [駐車場のご案内] ●お車の方は、美術館地下の神戸ファッションプラザ駐車場をご利用ください(1日最大550円)